

2021年12月期 通期決算 概要

The AGC logo is displayed in a white box on the right side of the slide. It consists of the letters 'AGC' in a bold, blue, sans-serif font. A small red square is positioned between the 'G' and 'C'.

AGC株式会社

2022年2月8日

Your Dreams, Our Challenge

2021年12月期 通期決算 概要	P.3
■ 2021年12月期 通期業績	P.4
1. 業績のポイントと主要項目	P.5
2. セグメント別・地域別の状況	P.12
■ 2022年通期業績見通し	P.19
付属資料	P.25

2021年12月期通期業績：

(前期比)

売上高 **16,974 億円** (+2,851億円)

営業利益 **2,062 億円** (+1,304億円)

親会社の所有者に帰属する

当期純利益 **1,238 億円** (+911億円)

- 製品販売価格の上昇、戦略事業の伸長により、前期比で大幅な増収増益
- 売上高および親会社の所有者に帰属する当期純利益は過去最高

2022年12月期通期見通し：

(前期比)

売上高 **18,000 億円** (+1,026億円)

営業利益 **2,100 億円** (+38億円)

- 高騰したクロールアルカリ製品の市況は落ち着くものの、戦略事業・コア事業ともに伸長し増収・増益

2021年12月期 通期業績

1. 業績のポイントと主要項目

2021年12月期 通期業績

(億円)

	FY2020 通期	FY2021 通期	増減	主な変動要因 (+)増加要因 (-)減少要因
売上高	14,123	16,974	+ 2,851	(+) 建築用ガラス、自動車用ガラス、 * ライフサイエンス製品、半導体関連製品の出荷増加 (+) 塩化ビニル樹脂、建築用ガラスの販売価格上昇 (+) ユーロ高
営業利益	758	2,062	+ 1,304	上記に加え、 (+) ガラス製造設備の稼働率改善に伴う製造原価低減 (-) 欧州における天然ガス価格上昇 (-) 液晶用ガラス基板や半導体関連製品の新規設備立ち上げ等に 伴う減価償却費増加 (-) 為替の影響によるディスプレイ製造原価上昇
税引前利益	571	2,100	+ 1,529	上記に加え、 (+) 北米建築用ガラス事業譲渡益などを計上 (-) 欧州自動車用ガラス事業、プリント基板材料事業で減損損失を計上
親会社の所有者に帰属する 当期純利益	327	1,238	+ 911	
為替レート (期中平均)				
JPY/USD	106.82	109.80		
JPY/EUR	121.81	129.89		
原油(Dubai,期中平均)				
USD/BBL	42.20	69.23		

* うち、為替差影響は+498億円、連結範囲変更の影響は▲63億円

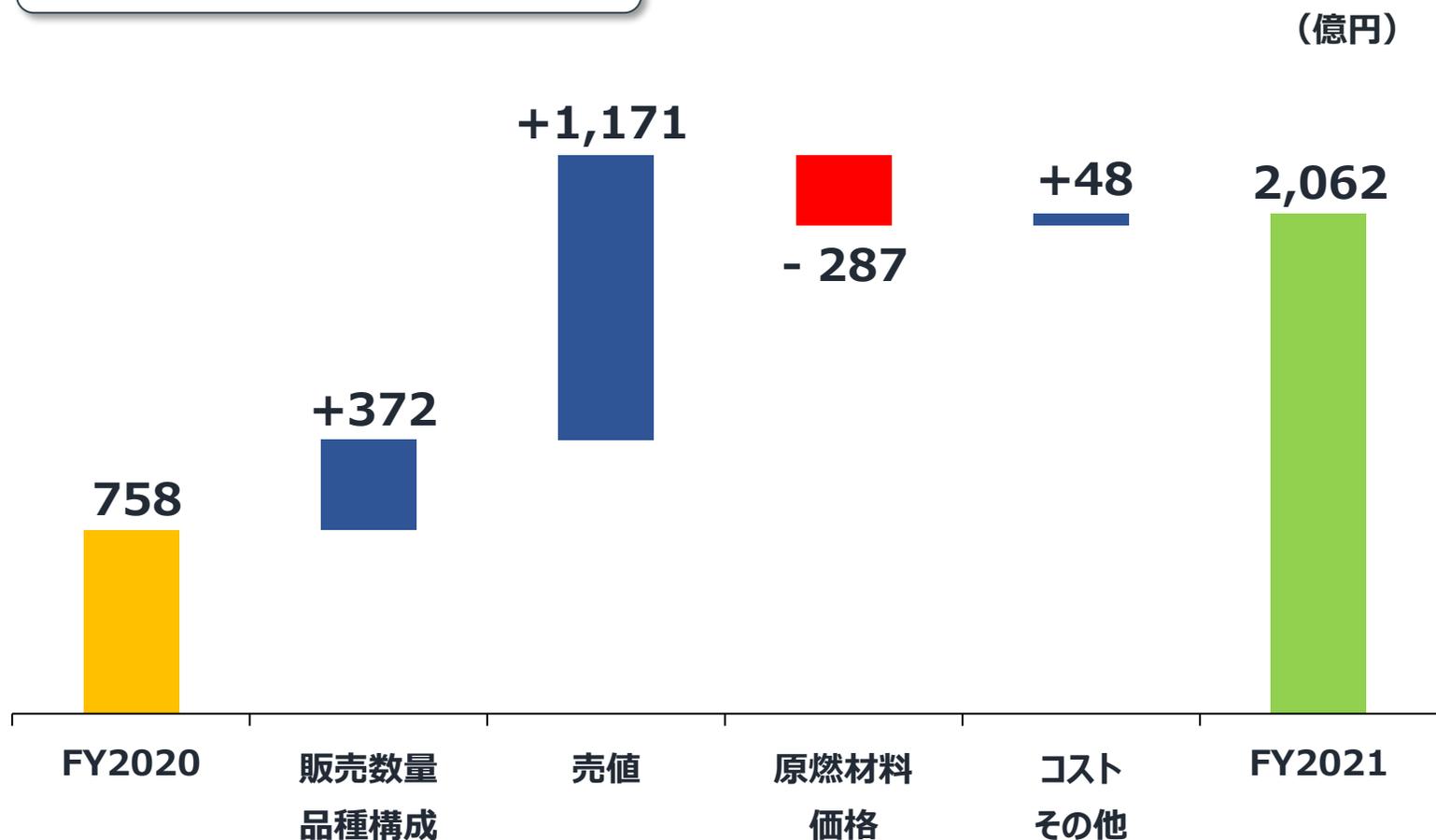
セグメント別業績 前年比較

(億円)

	FY2020		FY2021		増減	
	通期		通期		(b)-(a)	
	(a)		(b)			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ガラス	6,510	▲ 166	7,343	277	+ 833	+ 443
電子	2,894	378	3,120	364	+ 227	▲ 14
化学品	4,512	505	6,308	1,388	+ 1,796	+ 883
セラミックス・その他	811	42	794	35	▲ 17	▲ 7
消去	▲ 603	▲ 1	▲ 591	▲ 2	+ 12	▲ 1
連結合計	14,123	758	16,974	2,062	+ 2,851	+ 1,304

営業利益増減要因分析(FY2021 vs. FY2020)

前年比 1,304億円増益



■ コロナ渦で積み増した有利子負債の返済によりD/E比率を改善

	2020/12	2021/12	増減	(億円)
現金及び現金同等物	2,361	1,958	▲ 403	
棚卸資産	2,748	3,301	+ 553	
有形固定資産・無形 資産及びのれん	14,376	15,067	+ 691	← 為替差影響 +789億円
その他	5,859	6,334	+ 475	
資産合計	25,345	26,660	+ 1,316	← 為替差影響 +1,195億円
有利子負債	7,880	6,032	▲ 1,848	
その他	5,035	5,815	+ 780	
負債の部	12,914	11,847	▲ 1,068	
親会社の所有者に 帰属する持分合計	11,151	13,142	+ 1,990	
非支配持分	1,279	1,672	+ 393	
資本の部	12,430	14,814	+ 2,383	
負債及び資本合計	25,345	26,660	+ 1,316	
D/E比率	0.63	0.41		

- 北米建築用ガラス事業譲渡や政策保有株式売却などで投資活動によるCFが大幅に縮小

(億円)

	通期	
	FY2020	FY2021
税引前利益	571	2,100
減価償却費及び償却費	1,437	1,668
運転資金増減	78	▲ 307
その他	168	▲ 194
営業活動によるCF	2,254	3,267
投資活動によるCF	▲ 2,302	▲ 1,238
フリーキャッシュフロー	▲ 49	2,029
有利子負債増減	1,578	▲ 2,158
支払配当	▲ 266	▲ 310
その他	▲ 28	▲ 54
財務活動によるCF	1,284	▲ 2,523
現金等に係る換算差額	▲ 12	90
現金等の増加額	1,223	▲ 403

	通期 (億円)	
	FY2020	FY2021
設備投資額	2,413	2,165
ガラス	641	503
電子	807	702
化学品	952	942
セラミックス・その他	15	22
消去	▲ 2	▲ 3
減価償却費	1,437	1,668
ガラス	510	537
電子	479	612
化学品	430	500
セラミックス・その他	19	20
消去	▲ 1	▲ 1
研究開発費	464	494

【主な設備投資案件】

- ・ディスプレイ中国G11投資 (電子)
- ・ディスプレイ製造窯修繕 (電子)
- ・半導体関連製品製造設備増強 (電子)
- ・東南アジア塩ビ能力増強 (化学品)
- ・フッ素関連製品能力増強 (化学品)
- ・遺伝子治療薬工場買収 (化学品)
- ・バイオ医薬品能力増強 (化学品)

など

【主な減価償却費増加要因】

- ・半導体関連製品製造設備増強 (電子)
- ・ディスプレイ中国G11投資 (電子)

など

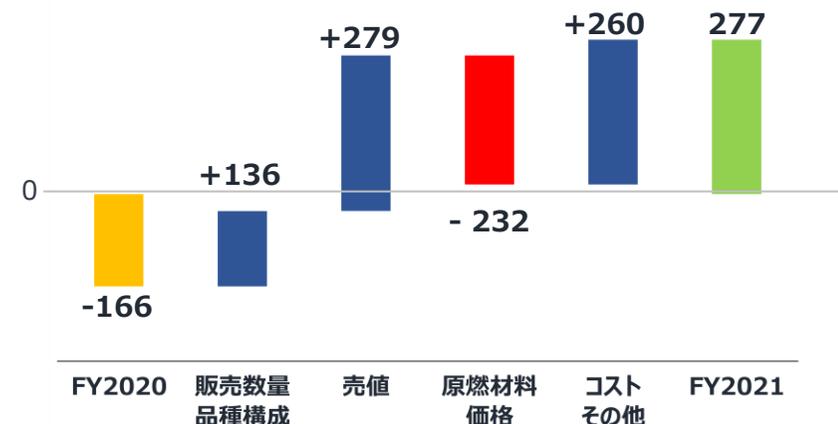
2. セグメント別・地域別の状況

(億円)

	通期		増減
	FY2020	FY2021	
売上高	6,510	7,343	+ 833*
建築用ガラス	3,249	3,811	+ 562
自動車用ガラス	3,235	3,511	+ 276
(セグメント間)	26	20	
営業利益	▲ 166	277	+ 443

* うち、為替差影響は+301億円、連結範囲変更の影響は▲76億円

営業利益増減要因分析



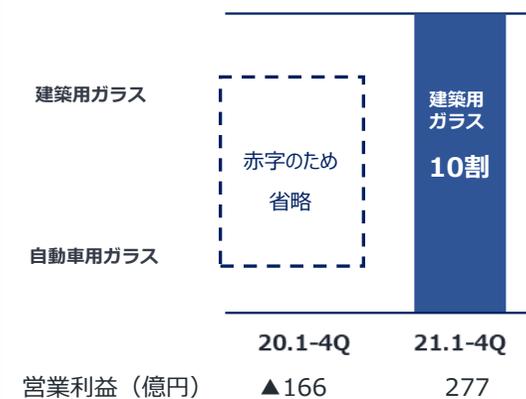
〔建築用ガラス〕

- ・ 北米事業売却による減収影響を欧州・インドネシアを中心とした出荷増でカバー
- ・ 欧州・南米での販売価格が大幅に上昇
- ・ 欧州を中心とした製造設備の稼働率向上、構造改革に伴う固定費削減により、製造原価が低減
- ・ 欧州の天然ガス価格が上昇

〔自動車用ガラス〕

- ・ 半導体を含む部品供給不足の影響を受けたものの、多くの地域で出荷が増加
- ・ 日本・アジアを中心に製造設備の稼働率が向上し、製造原価が低減

営業利益構成比（共通費配賦前）

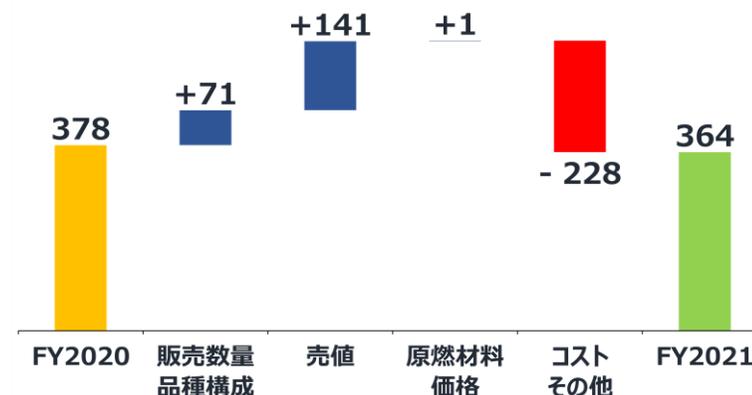


(億円)

	通期		増減
	FY2020	FY2021	
売上高	2,894	3,120	+ 227*
ディスプレイ	1,772	1,821	+ 48
電子部材 (セグメント間)	1,058	1,210	+ 152
	63	90	
営業利益	378	364	▲ 14

* うち、為替差影響は+38億円、連結範囲変更の影響はなし

営業利益増減要因分析



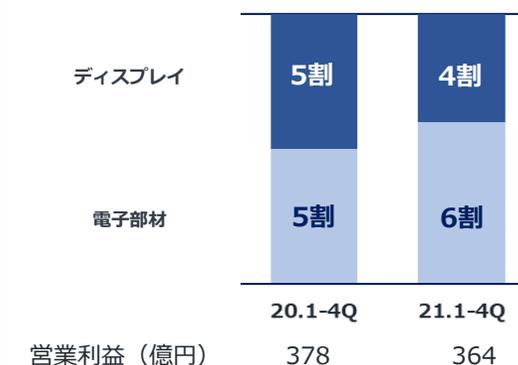
〔ディスプレイ〕

- ・ 液晶用ガラス基板の出荷は減少したものの、ディスプレイ用特殊ガラスの出荷は増加
- ・ 液晶用ガラス基板の新規設備立ち上げにより、減価償却費が増加
- ・ 為替の影響による製造原価上昇

〔電子部材〕

- ・ EUVマスク blanks等の半導体関連製品およびオプトエレクトロニクス用部材の出荷が増加
- ・ プリント基板材料は米中貿易摩擦の影響などにより、出荷が減少
- ・ 半導体関連製品の設備立ち上げなどにより、減価償却費が増加

営業利益構成比 (共通費配賦前)

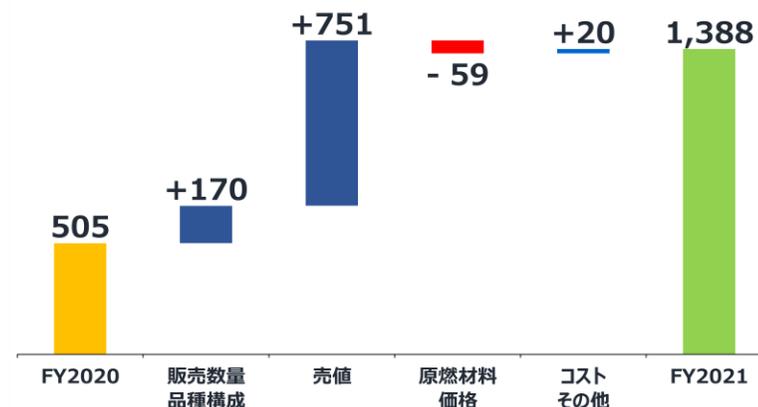


(億円)

	通期		増減
	FY2020	FY2021	
売上高	4,512	6,308	+ 1,796*
クロールアルカリ・ウレタン	2,641	3,904	+ 1,263
フッ素・スペシャリティ	1,057	1,239	+ 182
ライフサイエンス	799	1,152	+ 352
(セグメント間)	14	13	
営業利益	505	1,388	+ 883

* うち、為替差影響は+149億円、連結範囲変更の影響は+12億円

営業利益増減要因分析



〔クロールアルカリ・ウレタン〕

- 塩化ビニル樹脂および苛性ソーダの販売価格が上昇

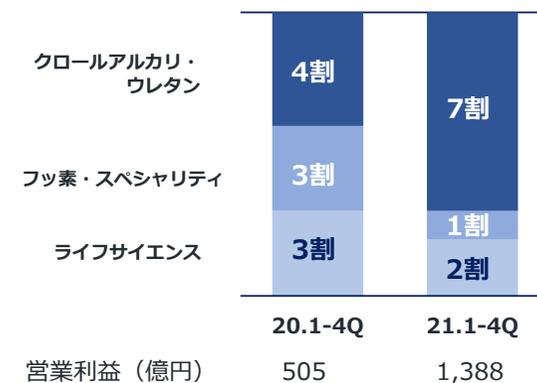
〔フッ素・スペシャリティ〕

- 自動車向けフッ素関連製品などの出荷は回復基調が継続
- 航空機向けフッ素関連製品の出荷は3Qより回復基調に反転

〔ライフサイエンス〕

- 合成医農薬CDMOは出荷が増加
- バイオ医薬品CDMOは新型コロナウイルス関連の案件も加わり、出荷が増加

営業利益構成比 (共通費配賦前)



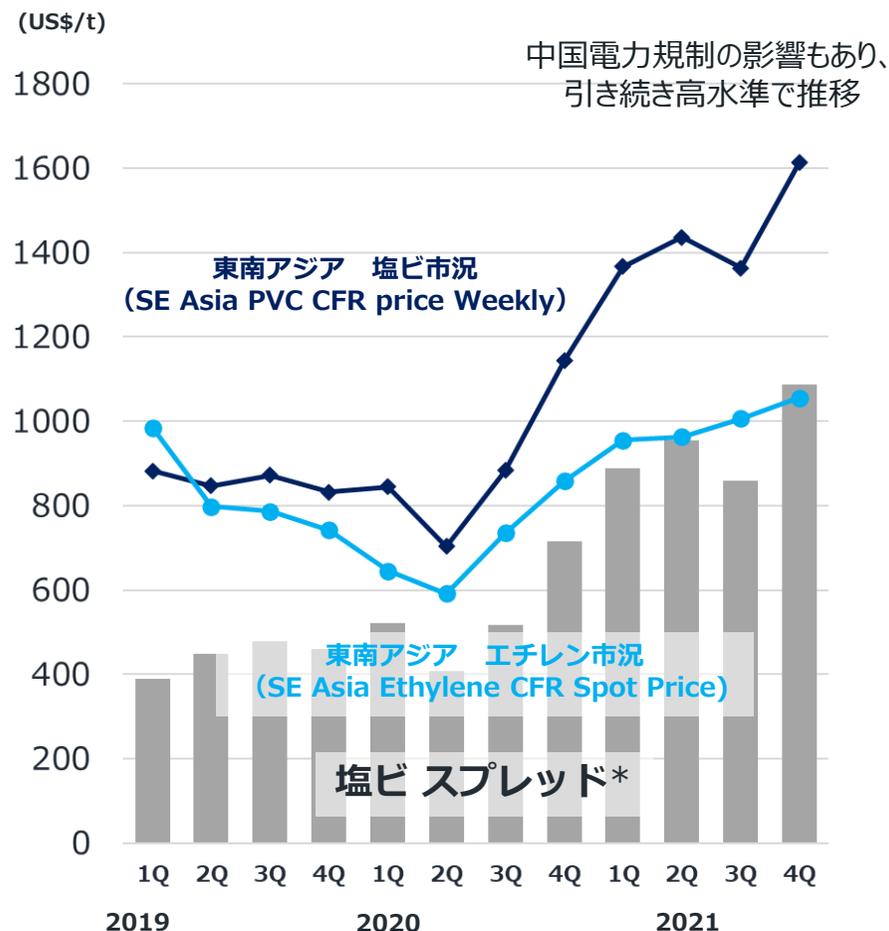
(ご参考) 東南アジア 苛性ソーダ、塩ビ市況

- 4Q中国電力規制の影響で、クローラルカリ製品市況は高騰
- 10月に高騰した市況は、年末にかけて緩やかに軟化

苛性ソーダ市況

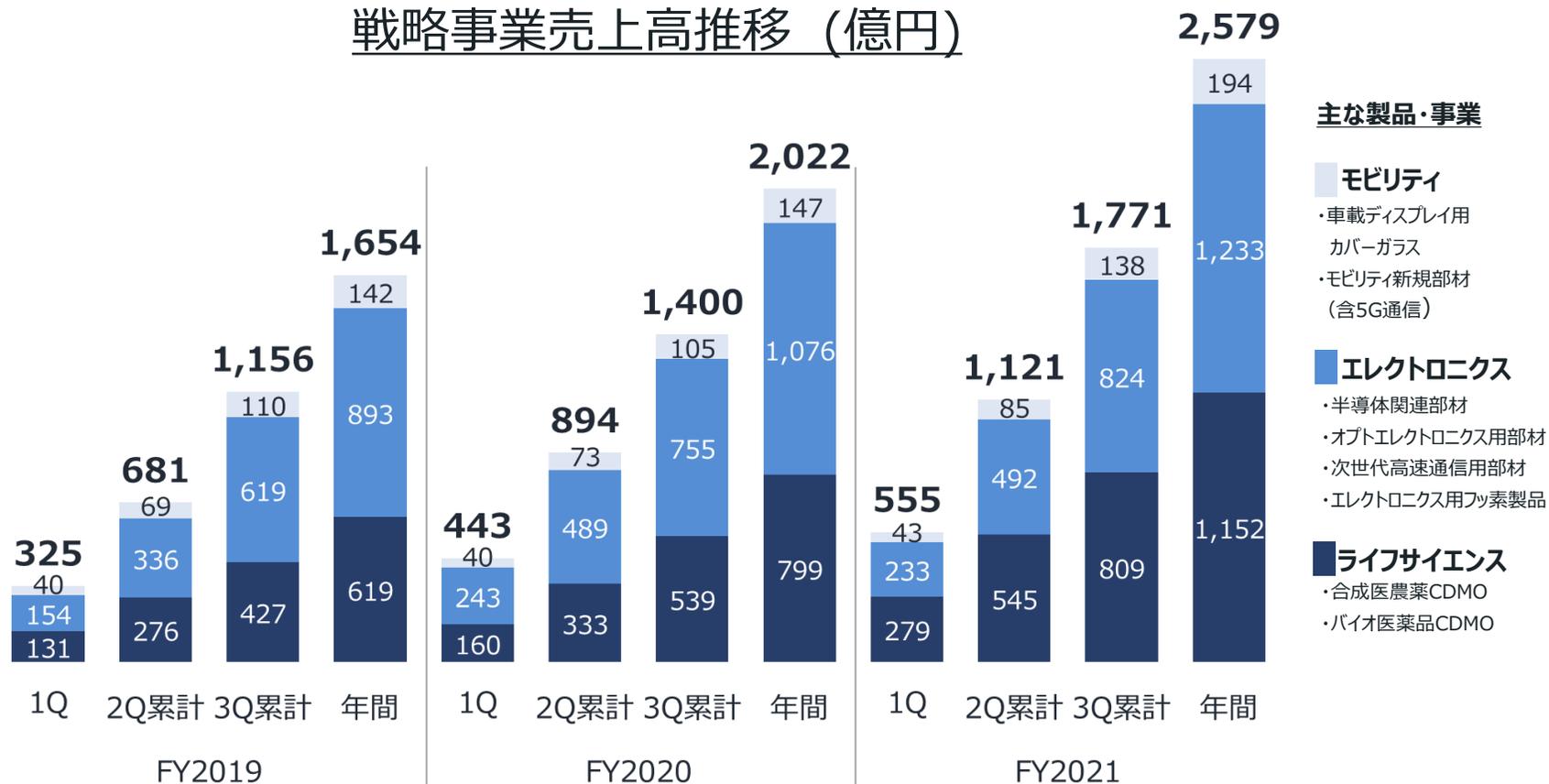


塩ビ市況



■ 順調に業績拡大

戦略事業売上高推移 (億円)



戦略事業
営業利益

53	104	222	331	93	177	296	444	113	196	346	538
----	-----	-----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(億円)

セグメント別 ROCE・EBITDA

(億円)

	営業利益		EBITDA*		ROCE		営業資産	
	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021
ガラス	▲166	277	344	815	-	4.6%	6,400	6,000
電子	378	364	857	976	6.3%	5.8%	6,000	6,250
化学品	505	1,388	935	1,887	8.9%	21.5%	5,700	6,450
セラミックス・その他	42	35	62	55	14.1%	14.0%	300	250
消去ほか	▲1	▲2	▲2	▲3	-	-	-	-
合計	758	2,062	2,195	3,729	4.1%	10.9%	18,400	18,950

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

2022年通期業績の見通し

2022年 通期業績見通し

- 塩ビ市況軟化、原燃材料価格上昇の影響を受けるものの、コア事業・戦略事業が伸長し、高い水準の収益性を維持する見込み

		(億円)	
		FY2021	FY2022 予想
売上高		16,974	18,000
	(上期)	8,113	8,700)
営業利益		2,062	2,100
	(上期)	952	950)
税引前利益		2,100	1,970
親会社の所有者に帰属する			
当期純利益		1,238	1,150
1株当たり配当 (円)		210	210
	(普通配当160円)		
	(特別配当50円)		
営業利益率		12.1%	11.7%
ROE		10.2%	8.8% *
為替レート (期中平均)	JPY/USD	109.8	115.0
	JPY/EUR	129.9	129.0
原油 (Dubai,期中平均)	USD/BBL	69.2	80.0
エチレン(CFR SEA)	USD/MT	1,141	1,070

* FY2022予想のROEは、2021年12月末時点の親会社の所有者に帰属する持分合計を使用しています。

セグメント別 売上高/営業利益見通し

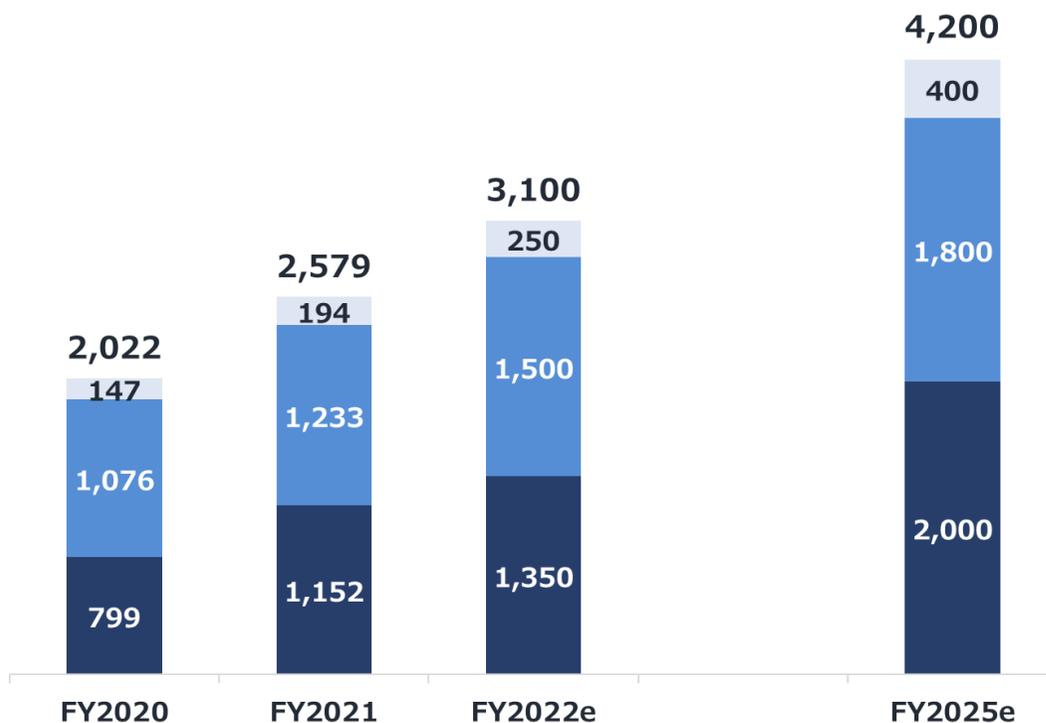
(億円)

	FY2021		FY2022 予想		増減	
	(a)		(b)		(b)-(a)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ガラス	7,343	277	7,650	360	+ 307	+ 83
電子	3,120	364	3,450	420	+ 330	+ 56
化学品	6,308	1,388	6,600	1,300	+ 292	▲ 88
セラミックス・その他	794	35	800	20	+ 6	▲ 15
消去	▲ 591	▲ 2	▲ 500	0	+ 91	+ 2
連結合計	16,974	2,062	18,000	2,100	+ 1,026	+ 38

2022年 見通し	
ガラス	<p>(建築用ガラス)</p> <ul style="list-style-type: none">・欧州を中心に良好な需給バランスが続き、堅調に推移・燃料価格上昇の影響が懸念される <p>(自動車用ガラス)</p> <ul style="list-style-type: none">・世界の自動車生産台数は半導体含む部品供給不足の影響から緩やかに回復・燃料価格上昇の影響が懸念される
電子	<p>(ディスプレイ)</p> <ul style="list-style-type: none">・液晶用ガラス基板は中国向けの出荷が増加・ディスプレイ用特殊ガラスはスマホ市場の拡大により、出荷が増加 <p>(電子部材)</p> <ul style="list-style-type: none">・半導体関連部材、オプトエレクトロニクス用部材は出荷が増加・プリント基板材料は通信インフラや車載向け市場などの拡大により、出荷が増加
化学品	<p>(クロールアルカリ・ウレタン)</p> <ul style="list-style-type: none">・インドネシアの塩化ビニル樹脂製造設備の稼働開始により、出荷は増加・2021年に高騰したクロールアルカリ製品の市況は軟化する見込み <p>(フッ素・スペシャリティ)</p> <ul style="list-style-type: none">・半導体・自動車向けの需要が堅調に推移し、出荷が増加 <p>(ライフサイエンス)</p> <ul style="list-style-type: none">・能力増強により、合成医薬CDMO・バイオ医薬品CDMOともに出荷が増加

■ 順調に業績拡大する見込み

戦略事業売上高推移 (億円)



主な製品・事業

モビリティ

- ・車載ディスプレイ用
カバーガラス
- ・モビリティ新規部材
(含5G通信)

エレクトロニクス

- ・半導体関連部材
- ・オプトエレクトロニクス用部材
- ・次世代高速通信用部材
- ・エレクトロニクス用フッ素製品

ライフサイエンス

- ・合成医薬CDMO
- ・バイオ医薬品CDMO

戦略事業 営業利益

444

538

650

1,000

(億円)

設備投資額・減価償却費・研究開発費

年間 (億円)

FY2021 FY2022e

	FY2021	FY2022e
設備投資額	2,165	2,800
ガラス	503	500
電子	702	880
化学品	942	1,400
セラミックス・その他	22	20
消去	▲ 3	0
減価償却費	1,668	1,800
ガラス	537	540
電子	612	680
化学品	500	560
セラミックス・その他	20	20
消去	▲ 1	0
研究開発費	494	540

【主な設備投資案件】

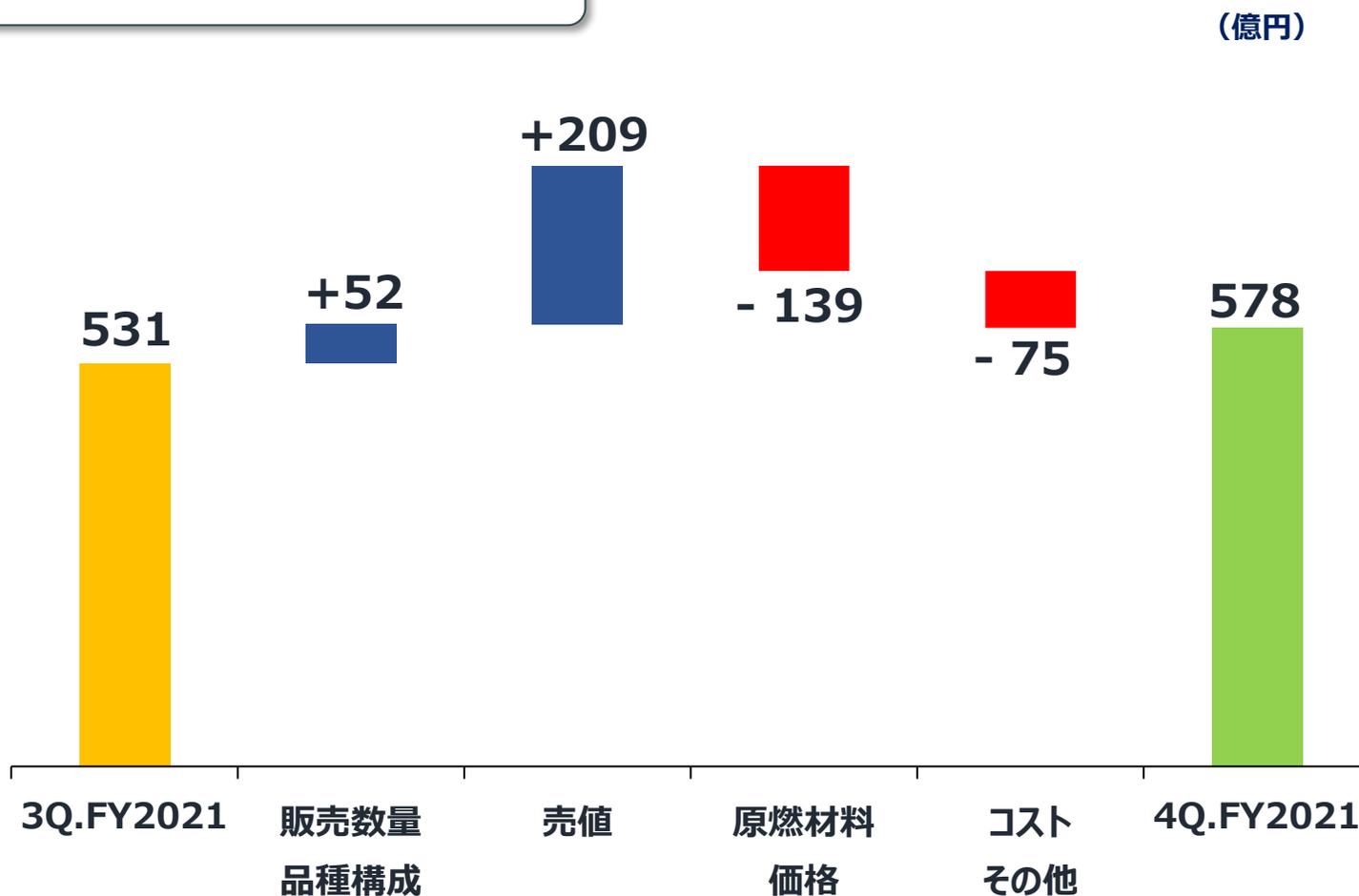
- ・電子部材関連製造設備増強（電子）
- ・ディスプレイ窯修繕（電子）
- ・東南アジアクロールアルカリ能力増強（化学品）
- ・フッ素関連製品能力増強（化学品）
- ・バイオ医薬品能力増強（化学品）

など

付属資料

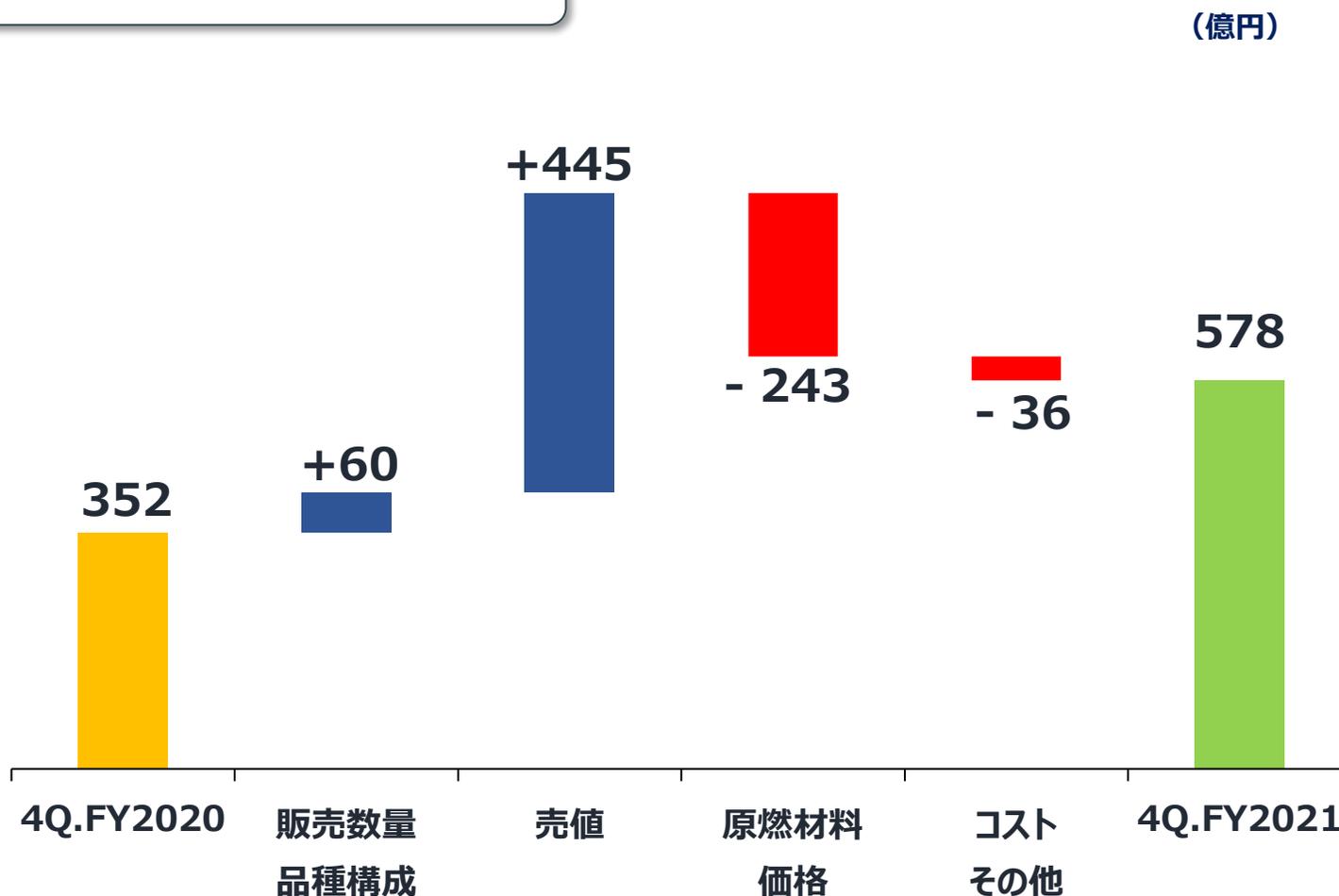
営業利益増減要因分析(4Q.FY2021 vs. 3Q.FY2021)

前四半期比 47億円増益



営業利益増減要因分析(4Q.FY2021 vs. 4Q.FY2020)

前年同期比 226億円増益



	通期		(億円)
	FY2020	FY2021	増減
売上高	14,123	16,974	+ 2,851
日本・アジア	9,453	11,244	+ 1,791
アメリカ	1,545	1,750	+ 205
ヨーロッパ	3,125	3,980	+ 855
営業利益	758	2,062	+ 1,304
日本・アジア	1,017	1,986	+ 969
アメリカ	34	100	+ 66
ヨーロッパ	69	375	+ 306
地域共通費用	▲ 363	▲ 399	▲ 36

為替影響：
+498億円

新規連結影響：
▲64億円

売上高 セグメント・地域別展開 前年同期比較

(億円)

日本・
アジア アメリカ ヨーロッパ セグメント間 合計

ガラス	建築用ガラス	4Q.FY2021	347	61	604	-	1,011
		4Q.FY2020	321	129	452	-	901
ガラス	自動車ガラス	4Q.FY2021	482	159	241	-	881
		4Q.FY2020	537	160	246	-	943
		4Q.FY2021	829	220	845	3	1,896
		4Q.FY2020	858	288	697	7	1,851
電子		4Q.FY2021	774	84	4	27	889
		4Q.FY2020	705	67	3	19	792
化学品		4Q.FY2021	1,436	130	231	3	1,800
		4Q.FY2020	1,035	80	178	3	1,296
セラミックス・その他		4Q.FY2021	86	-	-	146	233
		4Q.FY2020	84	-	-	150	235
消去		4Q.FY2021	-	-	-	▲ 180	▲ 180
		4Q.FY2020	-	-	-	▲ 179	▲ 179
合計		4Q.FY2021	3,126	434	1,079	-	4,639
		4Q.FY2020	2,682	435	878	-	3,995

売上高 セグメント・地域別展開 前年累計比較

(億円)

		日本・ アジア	アメリカ	ヨーロッパ	セグメント間	合計	
ガラス	建築用ガラス	FY2021	1,202	439	2,170	-	3,811
		FY2020	1,143	446	1,659	-	3,249
	自動車ガラス	FY2021	1,930	607	975	-	3,511
		FY2020	1,788	556	891	-	3,235
		FY2021	3,132	1,046	3,144	20	7,343
		FY2020	2,931	1,002	2,550	26	6,510
電子	FY2021	2,743	275	12	90	3,120	
	FY2020	2,587	232	11	63	2,894	
化学品	FY2021	5,043	429	823	13	6,308	
	FY2020	3,623	311	564	14	4,512	
セラミックス・その他	FY2021	326	-	-	468	794	
	FY2020	311	-	-	500	811	
消去	FY2021	-	-	-	▲ 591	▲ 591	
	FY2020	-	-	-	▲ 603	▲ 603	
合計	FY2021	11,244	1,750	3,980	-	16,974	
	FY2020	9,453	1,545	3,125	-	14,123	

(億円)

ガラス	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20	1Q.21	2Q.21	3Q.21	4Q.21
売上高	1,837	1,693	1,249	1,717	1,851	1,806	1,912	1,729	1,896
建築用ガラス	905	801	706	840	901	891	991	916	1,011
自動車用ガラス	923	889	534	869	943	908	915	808	881
(セグメント間)	9	3	8	7	7	7	6	5	3
営業利益	▲ 4	▲ 26	▲ 182	▲ 12	53	97	106	50	25

電子	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20	1Q.21	2Q.21	3Q.21	4Q.21
売上高	760	692	693	715	792	710	705	816	889
ディスプレイ	460	433	433	448	458	461	429	474	457
電子部材	276	238	247	257	316	230	257	318	405
(セグメント間)	24	22	13	10	19	19	20	24	27
営業利益	87	89	85	99	106	86	54	105	119

化学品	4Q.19	1Q.20	2Q.20	3Q.20	4Q.20	1Q.21	2Q.21	3Q.21	4Q.21
売上高	1,275	1,142	983	1,091	1,296	1,373	1,508	1,626	1,800
クローラルカリ・ウレタン	768	695	559	632	755	822	940	1,030	1,112
フッ素・スペシャリティ	311	283	247	250	278	269	299	329	343
ライフサイエンス	193	160	173	207	260	279	265	265	343
(セグメント間)	3	4	5	3	3	3	4	3	3
営業利益	191	151	75	98	180	255	340	365	427

数量・価格動向

				2020				2021					
				1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
前年同四半期比 (YoY)													
ガラス	建築用ガラス (AGC)	日ア	数量	-数%	-1割弱	+1桁半ば	+数%	+1割	+1割強	-1桁半ば	横ばい		
			価格	横ばい	-数%	-1割弱	-1桁半ば	-1桁半ば	+数%	+1割	+1割強		
		北米	数量	-1割弱	-約2割	+数%	+1割強	+10%台半ば	+3割強	-	-		
			価格	-1割弱	-1桁半ば	-1桁半ば	-1桁半ば	+数%	+約1割	-	-		
		欧州	数量	横ばい	-約2割	+数%	-1桁半ば	微増	+約3割	+1桁半ば	+約2割		
			価格	-1割強	-2割強	-2割弱	-数%	+1割弱	+4割弱	+約4割	+4割弱		
	自動車用生産台数 (IHS Markit 12/10データより)	日本	数量	-7%	-48%	-12%	+3%	-5%	+54%	-23%	-18%		
			北米	数量	-11%	-68%	+0%	+0%	-4%	+131%	-27%	-17%	
				欧州・ロシア	数量	-17%	-60%	-7%	+2%	+1%	+84%	-32%	-27%
	電子	ディスプレイパネル需要* (Omdia社)	グローバル	面積	0%	+5%	+12%	+7%	+17%	+10%	-3%	+3%	
市況実績値													
化学品	東南アジアクロアリ (Bloombergより)	苛性ソーダ	価格	USD/MT	293	301	281	251	264	342	422	722	
			PVC	価格	USD/MT	845	703	883	1,143	1,367	1,437	1,363	1,613
			エチレン	価格	USD/MT	645	592	735	858	955	963	1,007	1,055

*Source : Omdia-Display Long-Term Demand Forecast Tracker – 3Q21 Pivot

Results are not an endorsement of AGC Inc. Any reliance on these results is at the third-party's own risk.

		IFRS				
		17/12	18/12	19/12	20/12	21/12
売上高	百万円	1,463,532	1,522,904	1,518,039	1,412,306	1,697,383
営業利益	百万円	119,646	120,555	101,624	75,780	206,168
営業利益率	%	8.2	7.9	6.7	5.4	12.1
親会社の所有者に帰属する当期純利益	百万円	69,225	89,593	44,434	32,715	123,840
自己資本当期純利益率 (ROE) *1	%	6.1	7.7	3.9	2.9	10.2
総資産営業利益率 (ROA) *2	%	5.7	5.4	4.4	3.1	7.9
自己資本比率	%	53	51	50	44	49
D/E (有利子負債・純資産比率)	倍	0.38	0.43	0.47	0.63	0.41
営業CF/有利子負債	倍	0.42	0.35	0.32	0.29	0.54
一株当たり当期純利益 (EPS) *3	円	302.12	399.51	200.85	147.84	559.11
一株当たり配当金	円	105	115	120	120	210
EBITDA *4	百万円	249,880	259,425	231,857	208,459	383,226
為替レート (期中平均)	円/ドル	112.19	110.43	109.05	106.82	109.80
	円/ユーロ	126.66	130.42	122.07	121.81	129.89

*1 親会社の所有者に帰属する当期純利益/親会社の所有者に帰属する持分合計 (期中平均)

*2 営業利益/総資産 (期中平均)

*3 当社は、2017年7月1日をもって普通株式5株を1株に併合しています。一株当たり当期純利益は株式併合の影響を踏まえて換算しています。

*4 EBITDA (支払利息・税金・減価償却費控除前利益) = 税引前利益 + 減価償却費 + 支払利息

その他の財務指標についてはこちらを参照ください。 https://www.agc.com/ir/pdf/data_all.pdf

発表日	内容
1月14日	セントラル硝子株式会社との国内建築用ガラス事業統合に係る協議の中止に関するお知らせ
1月26日	メタサーフェス技術により窓ガラスの電波レンズ化に世界で初めて成功
2月5日	新たな経営方針、長期経営戦略および中期経営計画を策定
2月16日	AGC千葉工場、5Gを見据えてプライベートLTEネットワークを導入
3月3日	AGC Biologicsミラノ拠点、遺伝子・細胞治療CDMOの培養能力を増強
3月19日	インドシナ半島のクロール・アルカリ事業3社の統合再編を決定
4月12日	建築用ガラス事業の組織改正を実施
4月26日	原燃材料の自動管理システム「Smart Inventory System」を開発
5月25日	化学品プラントにデータ分析プラットフォームAlteryxを導入
6月8日	新型コロナワクチン向けプラスミドDNAの製造を受託
7月2日	AGC Biologics 社、米国における遺伝子治療薬工場の買収契約締結
7月15日	国内建築用ガラス関連製品の価格を改定
8月3日	北米建築用ガラス事業の譲渡完了に関するお知らせ
9月14日	AGC Biologics社、メッセンジャーRNAの生産設備を新設
9月30日	AGCが参加する世界省エネルギー等ビジネス推進協議会が策定したZEB普及のための技術仕様書がISOから発行
11月12日	AGC若狭化学、福井県上中工場の合成医薬CDMO製造能力を増強
12月2日	Schott Gemtron社の全株式を譲渡
12月9日	取締役・監査役・執行役員の異動について



Your Dreams, Our Challenge

END

予測に関する注意事項：

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権はAGC株式会社に帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。